

☆☆ 屋外タンク貯蔵所受入配管のドレン抜きバルブからのハイオクガソリ ンの流出

事象進展図

00496	ガンリン配管を消火配管と間違え、バルブを開放しガンリンを流出
発災年月日	2008年11月22日(土)
装置	屋外タンク貯蔵所
運転状況	定常運転中
特徴	消火配管と可燃物配管の識別技術基準の不備による誤操作が可燃物を流出させた事例

原因 事象の進展・経緯 備考 定常運転中 ・ガソリン貯蔵タンク受け入れ配管と消火配管 が並列に配置 凍結防止のため消火配管の水抜き ・両配管は見分けが付け難い状態 作業実施 (防食テープ巻で、バルブは赤色塗装) 当該タンク受入配管のドレン抜きバ 操作ミス (消火配管のドレン抜きバルブと思い込み) ルブを開放した状態にした タンク受入口の元弁を開とした 11月22日5時 受け入れ配管ドレン抜きバルブから ガソリンの流出 11月22日10時 現場パトロール中にドレン抜きバル ブからガソリンの流出を発見 直ちに関係部署に連絡 敷地外への流出防止 流出したドレンバルブの閉止 火災の発生や近隣の環境汚染は 漏洩したガソリンの回収 βカナナ

再発防止策

バルブ管理方法の変更と安全教育の実施

当該事故の最大の原因は防食テーブが巻かれ、バルブは赤色に塗装された似たような配管が2本配置されていて間違え易くなっていたこ とである。間違いを防止するためには表示が必要で、特にバルブなど操作が発生する可能性のある部分は確実に分かり易い表示が必要である。配管やバルブの色分けを行なって明確に区別するのも一方法である。なお、本事例のようにガンリン配管と消火配管のバルブを同じ赤色で塗装されていたというのは基本的な配慮が欠けていたといえよう。また、作業を実施する前後にその操作に間違いないかの指差 確認を行う等して操作ミ

引き金事象発生の原因

・配管やバルブの識別表示基準の不備

事故の引き金事象

ドレンバルブ誤操作によるガソリン 漏洩

事故に関係した直接・間接要因

《人的要因》 誤操作・不作為など 《人的要因》 うっかり・ほんやり・疲労・ストレスな (設計要因)) 機器·配管設計不良



☆☆ 屋外タンク貯蔵所受入配管のドレン抜きパルプからのハイオクガソリ

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料(文献など)

添付資料

- **キーワード(>同義語)**
 - **▼** 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備
 - ▼ 手動弁 > マニュアルバルブ
 - **〒** 誤操作 > 操作ミス
 - ₩ 作業確認

 - ₩ 勘違い
 - ₩ 作業確認マニアル
- 関連情報